

四丁目町内会

住環境新聞

第2号

2003.11.30 発行
 <製作者>
 芝浦工業大学
 三浦研究室
 4年 伊東真悟
 4年 関 創平
 4年 森 正人

【新聞の発行にあたって】
 この草加市四丁目町内会住環境新聞は、住民の皆様に住環境に対する興味を持っていただきたい、また住環境実測調査に参加していただいたことへの思いを込めて発行しております。この新聞を読んで少しでも関心を持っていただければ幸いです。なお、この新聞は毎月発行する予定です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

騒音実測調査終わりました！

11月13日(木)に四丁目町内会で騒音実測調査を行いました。参加者は住民15名、当学生8名の計23名で行いました。

騒音実測調査に参加した住民の皆さんは、初めて行う騒音実測に真剣に取り組んでいました。初めは慣れのようにでしたが、次第に率先して騒音計を扱い、私たち学生顔負けの実測調査となりました。

6時間という長時間の実測調査になりましたが、実測調査の大変さと、そして何より楽しさを体感していただけたと思います。「自分たちが暮らす町の騒音レベルはいかがでしたか？」この調査をきっかけに住環境に興味を持っていただければ幸いです。

結果、大成功を収めた騒音実測調査。この調査結果をもとに四丁目町内会の住環境を改善していきましよう。住民の皆さん、お疲れさまでした。



騒音実測調査参加者の声

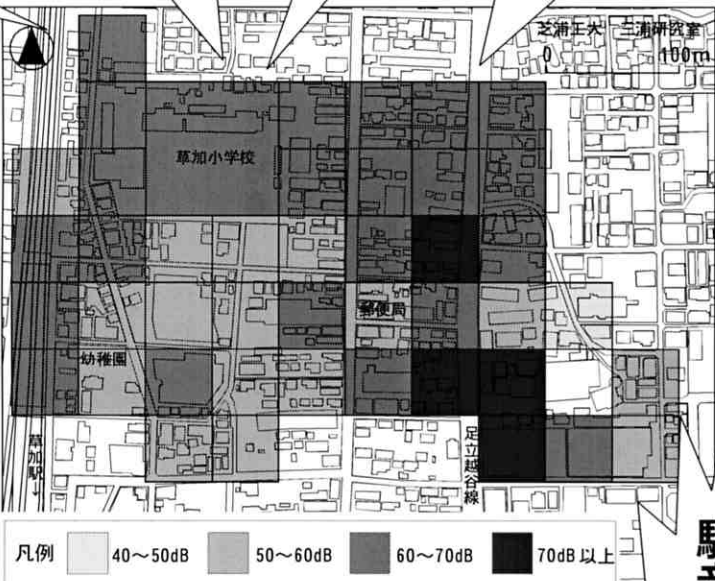
楽しい一日でした。本当にありがとうございました。騒音があれば高いとは思っても見ませんでした。草加に四十年も住んでいるのに。(女性60代)

町内一の車両交通量を誇る足立越谷線。騒音レベルも町内一で、平均約65デシベルでした。最も高い計測点では70デシベルを超えていました。

小学校は、子供たちの声により騒音レベルが少し高くなりました。

沓番街通りは道も細く車両も速度が出せないためか、他の地域に比べて騒音レベルは低くなりました。

東武伊勢崎線沿いの騒音レベルは平均して約60デシベルでした。現在の高架橋になってから、以前よりだいぶ騒音は低くなったようです。環境基準を満たす値となっています。



騒音に関する住環境マップ

四丁目町内会

上図が今回の騒音実測調査の結果をもとに、地図上に分かりやすく表現した、「四丁目町内会における騒音に関する住環境マップ」です。色が濃い場所は騒音レベルが高く、薄い場所は低いことを表しています。このように色でぬり分けて表現することによって、誰が見ても一目でこの騒音レベルが高いのかわかるようになっていきます。

車両交通量の多い足立越谷線や東武伊勢崎線沿いでは色が濃くなっており、他の地域に比べて騒音レベルが高いことがわかります。

騒音に関する住環境マップは今後の四丁目町内会の騒音問題に取り組む際の資料として活用できます。

＜コラム＞ 騒音の基準って何だろう？

環境省は、環境基準として騒音の基準を定めています。

環境基準とは、人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準として、終局的に、大気、水、土壌、騒音をどの程度保つことを目標に施策を実施していくのかという目標を定めたものです。

四丁目町内会の騒音の基準は以下の通りです。上図の実測結果と比較して、四丁目町内会の騒音は環境基準を満たしているのを見てください。

〈昼間〉 6:00~22:00	〈夜間〉 22:00~6:00
65デシベル以下	60デシベル以下

四丁目町内会の騒音基準¹⁾

1) 参考文献：環境省ホームページ「騒音に係る環境基準について」

第一回アンケート調査の結果が出ました

10月29日に四丁目町内会を対象とした第一回アンケート調査を行いました。配布部数381部、回収部数148部で、回収率は39%となりました。住民の皆さん、ご協力ありがとうございました。

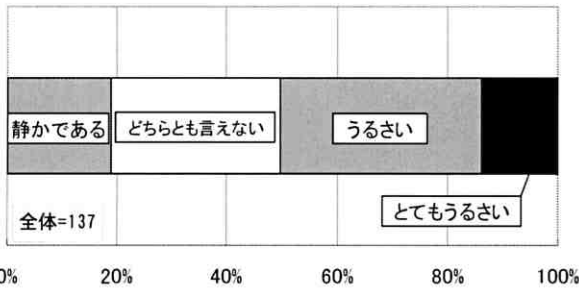
第一回アンケート調査の集計結果ができましたので、ここで調査結果の一部を紹介いたします。詳しくは第二回アンケート調査の際に報告します。

アンケート調査結果から見た 四丁目町内会の騒音

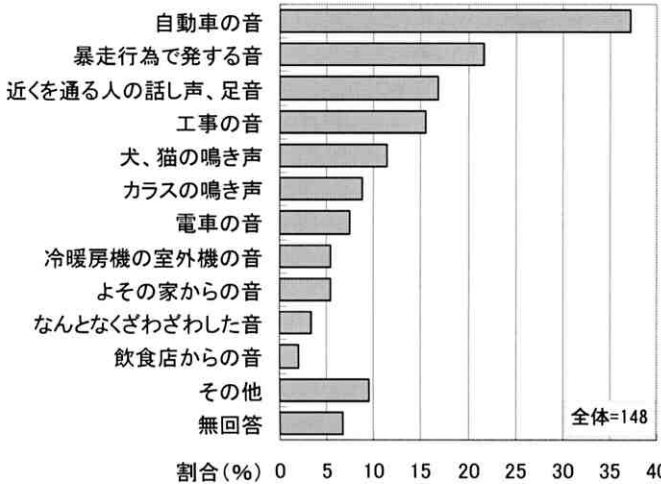
騒音実測調査を終えて、四丁目町内会の騒音レベルが数値として表されました。さて、四丁目町内会で生活を送っている住民の方々は騒音をどのように捉えていたのでしょうか。

「(問1-1) あなたはお住まいの周辺の騒音についてどのように感じていますか。」の問いに対し、『とても静かである』

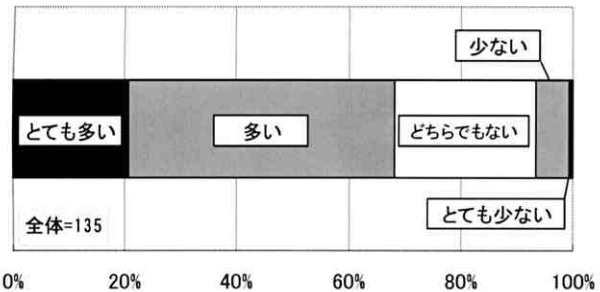
〈問1-1〉 あなたはお住まい周辺の騒音についてどのように感じていますか。



〈問1-2〉 問1-1で『うるさい』『とてもうるさい』と答えた方にお聞きします。どのような音をうるさく感じますか。



〈問1-7〉 あなたはお住まい周辺の自動車の交通量についてどのように感じていますか。



調査対象として四丁目町内会を選んだ理由

自治会の選定にあたり、埼玉県下において自治会名簿を入手することのできた、さいたま市南区、さいたま市桜区、上尾市、春日部市、草加市、蕨市、埼玉公団住宅自治会協議会の全自治会に対し、住環境に関するアンケート調査を行いました。その後、アンケートの結果により絞り込んだ9地区を実際に回り、自治会長さん達と話し合った結果、最もやる気の感じられた四丁目町内会を対象地区として選びました。

現在の四丁目町内会の住環境は比較的良好と考えられますが、今後住環境がどう変化するかわかりません。現在の住環境を実測調査し、把握しておくことが大切なのです。

《お問い合わせ先》

芝浦工業大学 システム工学部 環境システム学科 三浦研究室
 〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作 307
 TEL/FAX 048(687)5832 (月～金 11時～18時)
 Email : r00067@sic.shibaura-it.ac.jp
 教授：三浦 昌生 担当学生：伊東真悟 関 創平 森 正人
<http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/>

交通量調査を実施します！

実測日時：平成15年12月4日(木)
 午前7時～午前9時
 (雨天の場合8日(月)に変更)
 集合場所：四丁目町内会館
 集合時間：午前6時30分

調査の直前に30分ほど説明会を開きます。説明会では、調査の方法、調査地点などをご説明します。

交通量調査は難しいものではありません。参加する皆さまが初心者です。研究室の学生が全面的にサポートします。安心してご参加ください。

申し込みなどの特別な手続きは必要ありません。お気軽に四丁目町内会館まで足をお運び下さい。

何かご不明な点がございましたら、裏面に記載されている連絡先にお問い合わせ下さい。

たくさんのご参加お待ちしております。